



THREAT MATRIX

クライマックスシリーズおよび日本シリーズにおける誹謗中傷検出システム導入の実施結果について

英Signify Group社との連携による誹謗中傷対策プロジェクトの実施結果と今後の対応について

日本プロ野球選手会（会長：近藤健介）は、Signify Group社が提供するAI誹謗中傷検出・通報支援サービス「Threat Matrix」を活用し、クライマックスシリーズおよび日本シリーズ期間中に実施した、オンライン上の誹謗中傷および脅迫行為に関する対策プロジェクトの実施結果について、以下のとおりご報告いたします。

本取り組みは、選手が安心して競技に集中できる環境を整えることを目的として実施したものであり、誹謗中傷行為の実態把握と抑止、ならびに被害への迅速な対応を図るものです。

対象試合

「2025 JERA クライマックスシリーズ セ」
「2025 パーソル クライマックスシリーズ パ」
「SMBC 日本シリーズ2025」

期間

2025年10月8日から11月2日まで(対象試合開催期間の前後3日間)

プラットフォーム

X(旧Twitter)、Instagram、Facebook、TikTok

検出対象

クライマックスシリーズ進出6球団の出場登録選手のSNSアカウントおよび球団が運営する公式アカウント。

キーワードは選手名に加えて、SNSで見られる通称等や日本プロ野球に関連する誹謗中傷表現を事前に日本プロ野球選手会事務局にてリストアップ。

日本語を含む42言語および絵文字における投稿を監視し、網羅的な検出体制を構築。また、選手本人および選手の家族等から日本プロ野球選手会事務局に直接申告のあったダイレクトメッセージ(DM)についても調査を実施

主な調査結果

被害のあった公式アカウント：CS進出全6球団 計79選手

AIにより分析された投稿とコメントの総数 **約380万件**

AIにより検出された誹謗中傷が疑われる投稿数 **2,917件**

専門アナリストによる精査後、誹謗中傷と認められた投稿数 **466件**
→誹謗中傷と認められた全投稿に関し、各プラットフォームには通報済み

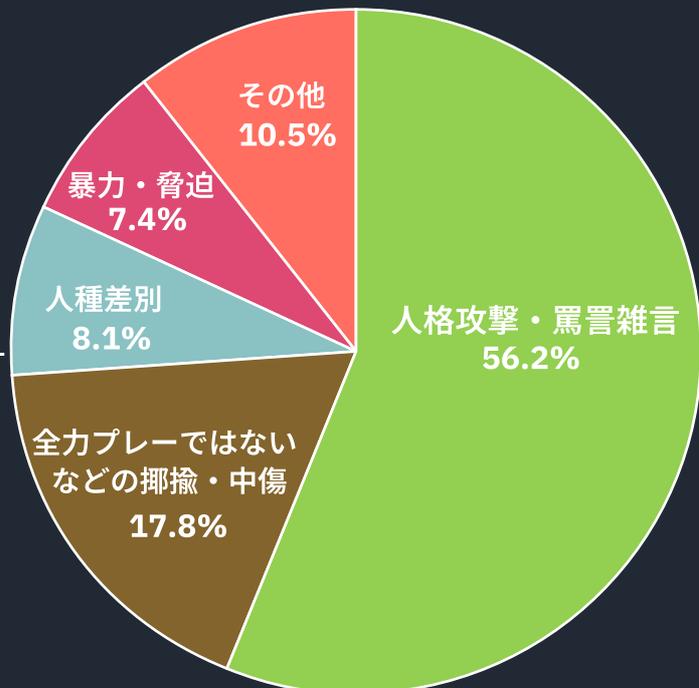
誹謗中傷の発信元アカウント数 **197件**

OSINTによる個人情報の特定

ケースに応じて法的手続き ※特定件数は非公表

誹謗中傷投稿の内訳分類

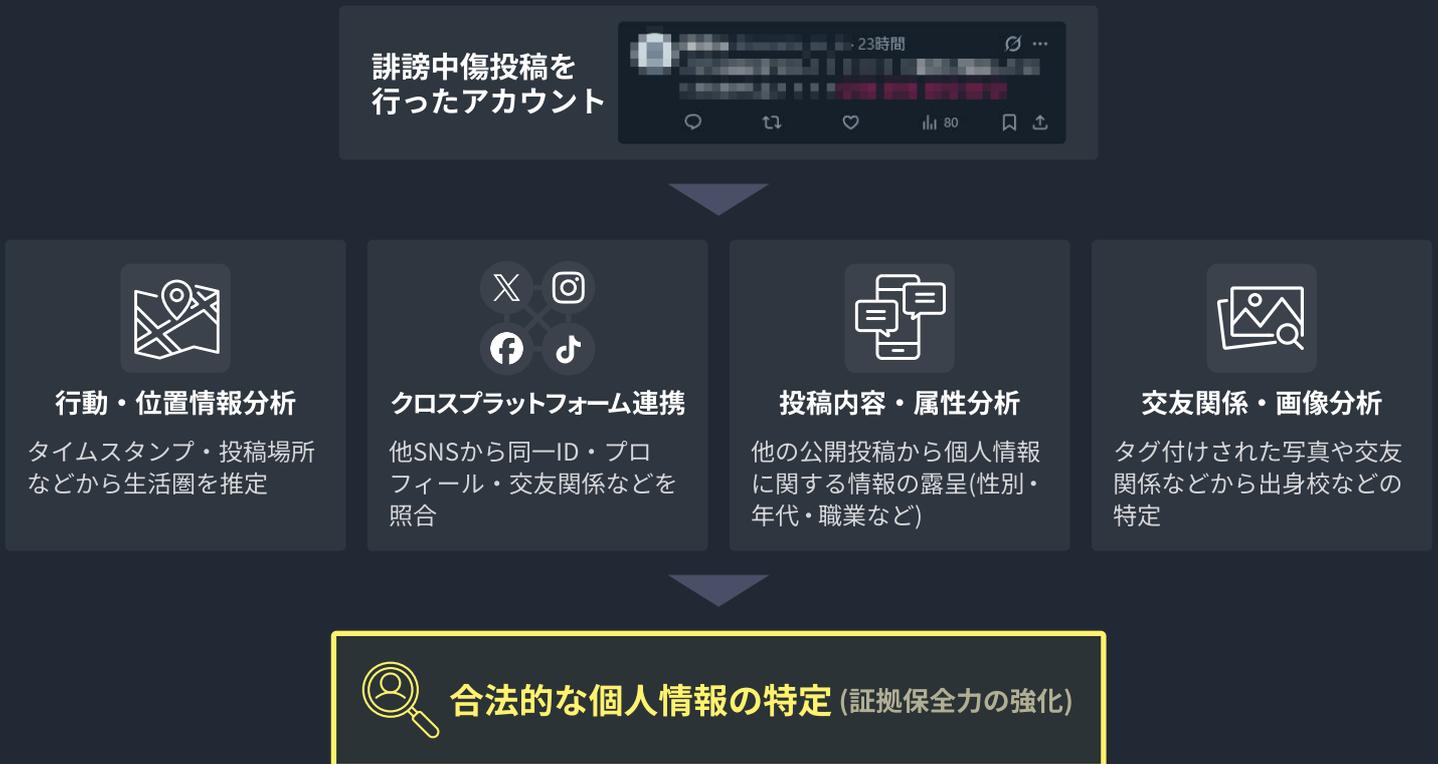
※「その他」には、性的侮辱表現、家族への言及、容姿否定などが含まれる。



個人特定方法について：OSINT（Open Source Intelligence）

「Threat Matrix」では一部の誹謗中傷投稿の発信元アカウントの個人情報をOSINTにより特定しました。OSINTとは、一般に公開されているアクセス可能な情報を分析することで合法的に個人情報を特定する方法です。

※下記は今回の実際のケースではなくイメージです。



選手保護に向けた追加アクションの検討

日本プロ野球選手会では、誹謗中傷行為を含む選手に向けた加害行為に対する抑止力を強化するため、NPBおよび各球団と連携し、以下の対応を検討してまいります。

- ◆ 誹謗中傷行為の加害者として特定された対象者に対して、試合観戦禁止処分を課すことを含む球団との連携の検討
- ◆ 一定の基準を満たす個別の案件については、警察への通報を含めた対応を検討

コメント



日本プロ野球
選手会会長
近藤健介

選手の安全と心身の健康は、グラウンドの内外を問わず、私たち選手にとって最優先事項です。

選手とその家族を守るため、誹謗中傷行為に対し、断固とした姿勢で臨んでまいります。そのために、選手のみならず指導者やスタッフ、審判など球界全体で協力し取り組む必要があると信じております。

本プロジェクトを通じて専門的な知見を共有いただき、実効性のある支援を提供していただいたSignify Group社に、心より感謝申し上げます。



Signify Group
スポーツ部門
責任者
ジェイク・
マーシュ

「Threat Matrix」は、アスリートがオンライン上で無制限の誹謗中傷や脅威にさらされることなく、最高のパフォーマンスを発揮できる環境の実現を目的として開発されました。

クライマックスシリーズおよび日本シリーズ期間中におけるJPBPAとの取り組みを通じて、有害な行為の特定、選手のウェルビーイングの支援、ならびに加害者の責任の明確化を図ることができました。

今後も日本野球界とのパートナーシップを継続し、選手とファンの双方にとって、より安全なデジタル環境の構築に貢献してまいります。

Signify Group社について

Signify Groupは、英国に拠点を置くテクノロジー企業で、スポーツ・政治・ビジネス分野において、個人および組織向けにAIを活用したデジタル脅威対策サービスを提供しています。

主力サービスである「Threat Matrix」は、高度なAI技術と専門人材の知見を融合し、主要なソーシャルメディア全体を対象に、誹謗中傷や脅迫行為の検知・分析・対応を行っています。

FIFA、イングランド・プレミアリーグのアーセナルFC、NCAA（全米大学体育協会）、ならびに複数のオリンピック競技連盟など、世界的な組織から高い信頼を得ています。

<https://www.signify.ai/>